

畑中 健 様

ここ数日のマスコミの論調は、社保庁とミートホープ事案がダントツでリードしています。しかしながら、日本の主要港湾の中国、韓国、台湾、香港、シンガポール等からの遅れを取り戻すことは、種々の問題がブレーキとなって悲観的な見方があります。それと同様に、教育現場の管理者も問題山積で心労が絶えないことでしょう。そのような忙しい日々を過ごされている貴兄に **RUWVOB** の掲示板を開設、維持、管理されていることに頼りきって、**RUWV** 山小屋 45 周年記念特集号の電子出版について、50 周年記念集会で提案し、昨年暮れの 12 月 9,10 日頃着の葉書 400 枚強で **OB,OG** 宛に原稿募集し、また、貴方の掲示板にもその旨掲載させてもらっています。かつ、また、厚かましくも **RUWVOB** が掲示板で再々登場していることから、私たち山小屋特集号編集に携わっている者は、貴兄の **HP** に電子出版していただければありがたいと連絡させてもらっていたところ、貴兄から、昨年暮れに空き時間が取れたからか、前向きな返信を頂いています。

結局、当初予定の 3 月末原稿締め切りが、5 月末まで延期して 30 人余の **OB,OG**、現役からの原稿等が寄せられ、先日最終打ち合わせしてページ割りしたところです。現在、その方針の下、41 年卒の松久さんに、最終のページ割整理をしてもらっているところです。

先日の最終打ち合わせで、ボリュームがあるので、A4 版原稿を B5 版打ち出ししようかとの考えもありましたが、総括編集責任者の 35 年卒鎌田克則先輩等の発言「年配者が多いので、できるだけ大きい字を希望する。」ということから、縮小は考えずに、A4 版に決定しました。推定で 80 頁余になるでしょうか。全て新しく書き起こしていただいた原稿です。従って、電子出版するためのデータ送信、**HP** 掲載等の各ステップで、ボリュームがあることから上手く進行できるのか若干心配するところがあります。しかし、やってみなければ今から種々心配しても始まらないとの想いで、あなたのところにデータが届いた段階で、時間が取れたら、貴方の **HP** への掲載を検討していただければ結構です。

なお、電子出版後、インターネット、**HP,PC** 等に関知されない **OB,OG** が居られること、更には、保存用に冊子出版を希望されていることから、暫時様子を見て、上記の電子出版した資料に貴兄の掲示板に既に掲載している漂雲「山小屋関係記事の復刻版」原稿を合本・編集して、予算の関係もありますが、見積もり等検討した上で、できればカラー印刷で冊子出版を検討する段取りでいます。

このような企画は、私たち全 **RUWVOB** の中にあっても、今後再々できるとは想定できません。公務多忙とは存じますが、**PDF** ファイルで 80 頁前後の山

小屋特集号の原稿を貴兄管理の HP へ掲載いただけるように、よろしくご協力
いただきたく、お願い申し上げます。

原稿の送付期日の目途としては、7月上旬頃を想定して、作業進行中です。
新旧写真や手紙等を取り込んで、現在に至った私たちの RUWV 山小屋の全てを、
各人の切り口で綴っています。これで全てではないまでも、かなりのところか
ご理解いただけ、更なる愛着が湧いてくるものと期待しています。

再々申していますとおり、貴兄の公務優先で、可能なところで私たちの企画
にご支援いただければ幸いと、当面私たちが取り組んでいる状況のご報告とさ
せていただきます。

平成 19 年 6 月 26 日

香芝市 39 年卒 鈴木正博 拝